

令和5年度 江戸川区発達相談・支援センター

第4回 発達が気になる子の親支援講座

遊びとつながる発達支援

2023年10月4日(水)

作新学院大学 石塚祐香

自己紹介



作新学院大学 人間文化学部

石塚 祐香 (いしづか ゆうか)

博士(心理学)

臨床発達心理士・保育士・公認心理師



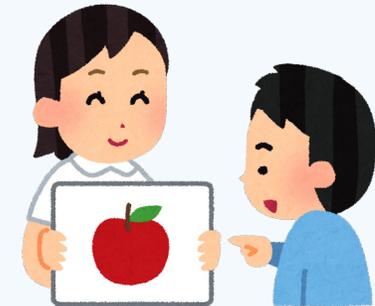
東京都
特別支援教室
巡回相談心理士



保健センター
心理相談員



江戸川区
乳幼児施設等
巡回支援



茨城県・栃木県
児童発達支援事業所
スーパーバイズ
(ADDSより委託)

本日はご参加いただきありがとうございます

～本日の予定～

- (50分程度) 第一部 遊びとつながる発達支援ー共通のワザー

<休けい 5分程度>

- (35分程度) 第二部 遊びとつながる発達支援ー個別のワザー
- 11:40-12:00 質疑応答



第一部

遊びとつながる発達支援ー共通のワザー

お子さんの発達支援に関わる皆さまのお声

■保護者の方々

- どんなことを教えたらいいいのか。
- どのように関わったらいいいのか。
- まとまった時間が取れない。
- お子さんの「やだ!」「やらない!」が増えている。

■先生方

- 低年齢のお子さんで、机上で座って課題を実施することがまだ難しい。
- 「教えられている」という場面だと、課題の拒否が多い。
- 習得したことを様々な場面で活用することが課題のお子さん
- 小集団の中で活用したい。

本日お伝えしたいメッセージ

① お子さんの動きやことばをまねしていきましょう!

② お子さんの「やりたい!」と私たちの「やりたい!」を合わせましょう!

お子さんの動きをまねする

■物を使った動きをまねする

- お子さんが寝そべって車を動かす
→ お子さんの視野内に入り、車を動かす
- お子さんが人形をなでる → 大人も人形をなでる
- お子さんが紙に絵を描く → 大人も紙に絵を描く
- お子さんが人形に食べ物を食べさせる
→ 大人も人形に食べ物を食べさせる
- お子さんが太鼓をたたく → 大人も太鼓をたたく

■物を使わない動きをまねする

- お子さんがうなづく → 大人もうなづく
- お子さんがジャンプする → 大人もジャンプする
- お子さんが手をたたく → 大人も手をたたく
- お子さんがリズムに乗って体を動かす
→ 大人もリズムに乗って体を動かす



お子さんのことばをまねする

■発声をまねする

ばー

ばー

ばー

ばーなー

■発話をまねする

電車あった

電車あったね

電車あった

みどりの
電車あったね

お子さんの動きやことばをまねする ステップ

1. お子さんの動きやことばをまねしてみましょう。
2. お子さんのリアクションがなくても、まずは5分間ほど続けてみましょう。
3. 次に、お子さんのリアクションをするかどうかを確かめながら、まねを調整していきましょう。

お子さんのリアクションがなくても、まずは5分間ほど続ける

- お子さんの動きやことばをまねすることで、お子さんがどのようなことが好きなのかを「体感」することができます。
 - 目で見て楽しい、耳で聞いて楽しい、触って楽しい、その組み合わせなど。
- できるだけ、同じ物を使って、同じ声の大きさやリズムでまねしましょう。



子どもの好きな遊び方を知ることができる。

子どもの好きな遊び方の傾向を推測することができる。

大人に模倣されたとき、お子さんはどんなリアクションをするか？

大人の顔を見る・
物を見る・笑顔になる

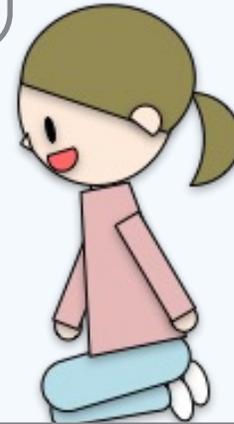
(e.g., Berger & Ingersoll, 2015; Field, 1977; Goldstein & Schwade, 2009; Nadel, 2002; Rochat & Striano, 2004; Sanefuji & Ohgami, 2011)

大人を模倣する

(e.g., Goldstein & Schwade, 2008; Masur, 2006; Masur & Olson, 2008; Nadel, 2002)

色々な行動を試す

(Berger & Ingersoll, 2013; 2015)



大人(保護者, 先生)との
やりとりが増える

(e.g., Masur & Rodemaker, 2006; Nielsen & Dissanayake, 2004)

発声が出る

(Goldstein & Schwade, 2008; Goldstein et al., 2009; Hirsh, Stockwell, & Waker, 2014; Neimy, Pelaez, Carrow, Monluz, & Tarbox, 2017; Pelaez, Ortega & Gewirtz, 2011a; 2011b)と音声模倣 (Masur & Olson, 2008; Goldstein & Schwade, 2008)

お子さんのリアクションをするかどうかを確かめながら、まねを調整する

■動きのまねを調整する

- ・動きを少し大きくしたり、お子さんの視野に入るように動かしたり、リズムを変えます。

■ことばのまねを調整する

- ・小さい声、大きい声を出してみる
- ・リズムを変えてみる。組み合わせる。

■動きのまねと、ことばのまねを組み合わせで調整する

- ・お子さんの動きを実況中継するように言葉に出したり、効果音をつけてみます。



お子さんをまねすることは、
日常環境発達行動支援法(NDBI)に
含まれている支援方法の1つ

応用行動分析学(ABA)を活用した発達支援

A：行動のきっかけ

Point3

適切な行動を引き出す
きっかけを作って増やす

B：お子さんの行動

Point1

適切な行動を見つける

着替える・食べる・運動する・トイレを使う・
ことばを話す、聞く・表情や身振りを使う、
理解する・保護者や先生、お友達と遊ぶ

C：行動の結果

Point2

適切な行動をほめて増やす

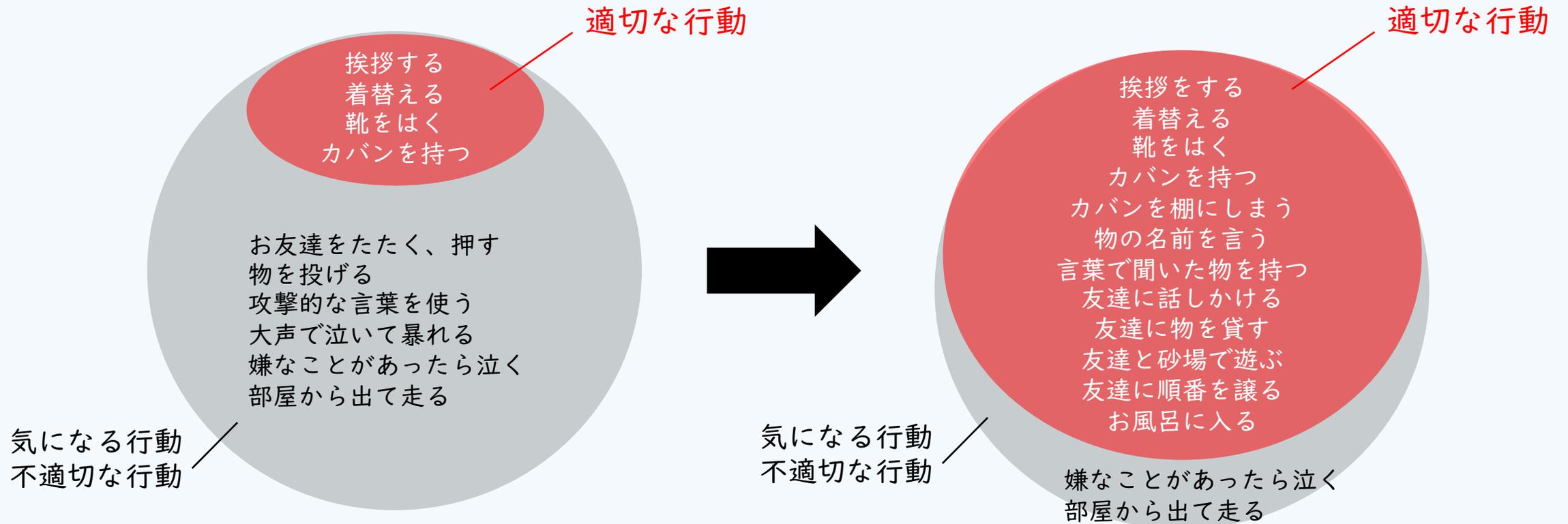
子どもたち一人ひとりの良い行動・得意な行動・今できている行動に焦点を当て、それを増やします。
子どもたちの「ほめられてうれしい!」経験を増やしていきます。

応用行動分析学(ABA)を活用した発達支援

適切な行動が増えると、**不適切な**行動は減っていきます

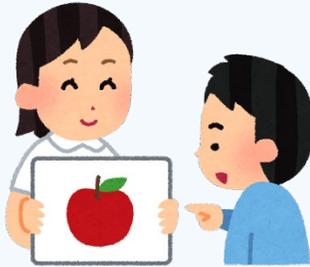
良い行動・得意な行動・今できている行動

気になる行動・困った行動



応用行動分析学(ABA)を活用した発達支援

個別試行支援法 (DTT:discrete trial teaching)



- 机を挟んで向かい合って座る時間を設ける
- 1対1で1つの課題をできるようになるまでその場で繰り返し教える
- 子どもの行動レポーターを作り上げる場合に有効

集中練習

日常環境発達行動支援法 (NDBI:Naturalistic Developmental Behavioral Intervention)



- 生活の時間や遊びの時間を利用する
- 1対1でも、小集団・集団でもできる
- 子どもがすでに持っている行動レポーターを生活・遊びの中で活用する場合に有効

日常活用

日常環境発達行動支援法(NDBI)は、日常生活・遊び場面で活用できます



日常環境発達行動支援法(NDBI)は、新しいプログラムなのか？



これまでに開発されてきた、日常生活・遊び場面で活用できる様々なプログラムをもとに、それらのプログラムに共通する教え方や、お子さんに教えるスキルを抽出した枠組みです。

様々な場面で活用できます

■日常生活場面

- 食事場面
- お風呂場面
- 散歩場面
- 着替え場面

■遊び場面

- おもちゃを使った遊び場面
- 身体を使った遊び場面
- ことばの遊び場面
- おしゃべりをする場面

などなど…

日常環境発達行動支援法(NDBI)は、コミュニケーションを教える方法



日常環境発達行動支援法(NDBI)は、何を目的としているのか？



NDBIは、お子さんのコミュニケーションの発達を伸ばすことを目的としています。他者に興味を持つ、他者の感情や興味を共有する、他者と相互にやり取りをして関わる、人と関わるのが楽しい!という経験。こうした経験が、様々なスキルの発達を支える学習基盤となると考えます。

日常環境発達行動支援法(NDBI)は、「模倣」を教えることを重視する



日常環境発達行動支援法(NDBI)は、何を教えるのか？



NDBIはことばの発達の土台となる「模倣」を教えることを重視します。
本日は「模倣」を教えることを中心に、その方法をご紹介します。

目標となる行動の例

目標となる行動		具体例
模倣	動作・操作・音声	(動作)手遊び歌、ちょうだいのサイン(操作)コップでのおまね、 (音声)「あ」「りんご」
注意	共同注意(始発・応答)	(始発) 子どもから指さしなどを使って大人と物を共有する (応答) 大人が指さしをした方向にある物を見る、一緒に共有する
遊び	ふり・見立て・交互交代	(ふり)りんごを食べるふり「パクパク」(見立て)つみきで電話するまね「もしもし」(交互交代)「○○君の番、先生の番」
言語表出	要求・命名/報告	(要求)「○○ちょうだい」(命名/報告)「りんご」「～した」
言語理解	語彙・指示理解	(語彙) 複数の絵からりんごを指さす (指示理解)頭さわってと言われて頭をさわる
社会性	始発・応答・相互作用	(始発) 先生の方を見て笑いかける、物を見せる、指をさす、 (応答) 先生の笑顔を見て、笑顔になる、先生の指さしに応じる、先生の物と自分の物を見比べて笑顔になる(相互作用)始発・応答を繰り返す
視覚-運動	同一・分類 粗大運動・微細運動 (手先操作)	(同一)コップ同士を重ねるなど同じものを合わせる (分類)赤と青のブロックを分ける (粗大動作)ジャンプ、スキップ、(微細動作)パズル、ペグさし、ひも結び
身辺自立	着衣・歯磨き・食事など	(着衣)靴下を履く、(歯磨き)口を濯ぐ、(食事)スプーンをもつ、
会話	始発・応答	(始発)質問する、話しかける、(応答)質問に答える、相槌をうつ

日常環境発達行動支援法(NDBI)は、「モデリング」と「まね」で模倣を教える



日常環境発達行動支援法(NDBI)は、
模倣をどうやって教えるのか？



まずは、お子さんの動きやことばをまねします。
お子さんのリアクションが引き出されたら、
「モデリング(見本を見せる)」を行い、お子さんの模倣を引き出して
いきます。

NDBIの方法を用いて「模倣」を教える

A：行動のきっかけ

B：お子さんの行動

C：行動の結果

お子さんの動きやことば

お子さんのあらゆる
動きやことばを
まねしてほめる

動きやことばの見本を見せる
(モデリング)

大人の動きやことばを
模倣する

お子さんのあらゆる
動きやことばを
まねしてほめる

お子さんのやりたい!と、大人のやりたい(やってほしい)!を組み合わせます。
子どもたちの「ほめられてうれしい!」経験を増やしていきます。

NDBIの方法を用いて「模倣」を教える

A：行動のきっかけ

B：お子さんの行動

C：行動の結果



「ぶー」と言う



笑顔で「ぶー」だね!
まねしてほめる



「ぶーぶー!」



「ぶーぶー」と言う



笑顔で「ぶーぶー」だ
ね!と まねしてほめる

NDBIの方法を用いて「模倣」を教える

A：行動のきっかけ

B：お子さんの行動

C：行動の結果



たいこを1回たたく



笑顔で
たいこを1回たたく



たいこを2回
たたく



たいこを2回
たたく



笑顔で
たいこを2回たたく

NDBIの方法を用いて「模倣」を教える(日常生活・ことばの模倣)

獲得済みの行動	目標の行動
パン	りんご
くま	プリン
わんわん	ぎゅうにゅう

A : 先行刺激	B : 行動	C : 後続刺激
	「パン」と言う	「パンだね!」とほめ、パンをわたす
「牛乳のむ?」	「にゅ」と模倣する	「にゅ～」と牛乳を少し注ぐ
「にゅうにゅう?」	「にゅうにゅう」と模倣する	「にゅうにゅう、だね!」とほめる
「のむ?」と言い、牛乳を見せる	「にゅうにゅう」と言う	「にゅうにゅうだね」と言い、牛乳をそそぐ

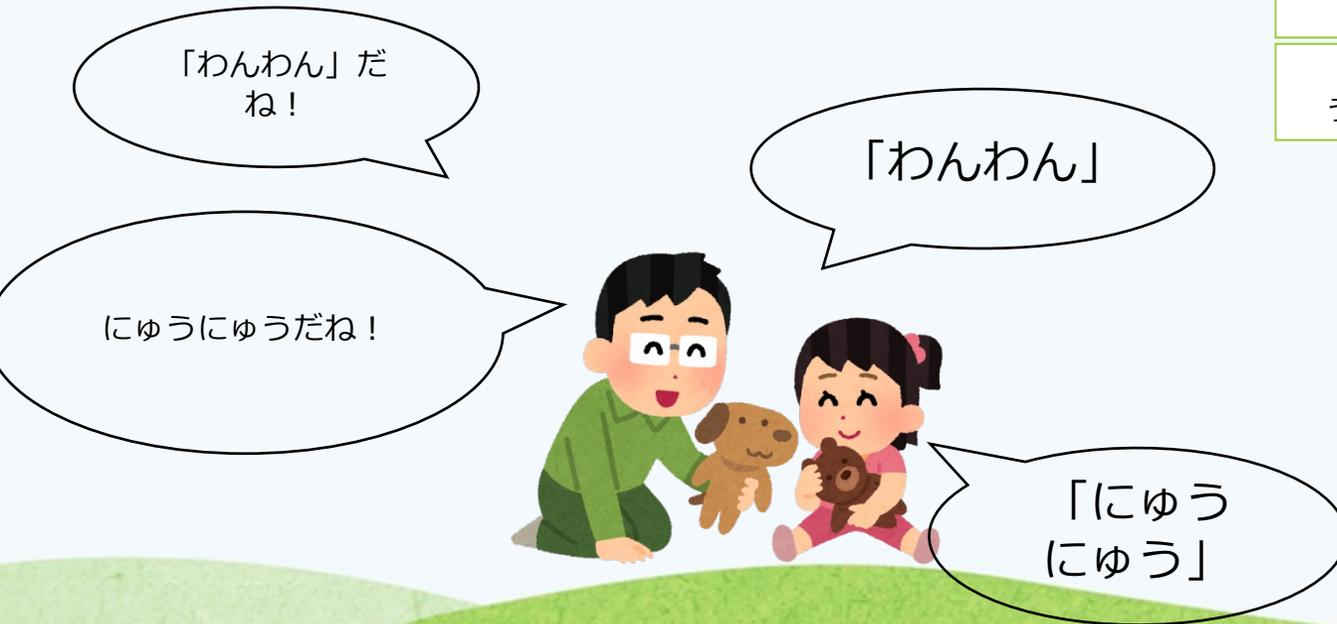


- すでにできていることばの模倣を引き出したり、獲得済みの言語表出も引き出しながら、目標の行動の機会を日常生活の中に作っていきます。

NDBIの方法を用いて「模倣」を教える(遊び場面・ことばの模倣)

獲得済みの行動	目標の行動
パン	りんご
くま	プリン
わんわん	ぎゅうにゅう

A : 先行刺激	B : 行動	C : 後続刺激
	「わんわん」と言いながらなでる	「わんわん」だねー!
「わんわんお腹すいたなー! 喉かわいたなー牛乳飲みたい な」牛乳をのませる	犬のぬいぐるみに 牛乳をのませる	動きをまねする 「ごくごく!」
にゅうにゅうだね	「にゅうにゅう」	「にゅうにゅう、ごく ごくだね!」
	「わんわん」	「わんわんだね」
「わんわん、にゅう うにゅうだね」	「にゅうにゅう」	「そう! にゅうにゅう」だ ね!



子どもの「やりたい!」遊び・活動に大人の「やりたい!」を合わせる

子どもが「話したい」「伝えたい」となるような工夫をする

■好みのおもちゃ(の一部)を少しずつ渡す

- お絵かきをしたい時に紙だけ渡す、電車で遊ぶ時にレールだけ渡す

■小さな変化をつける

- 一列に並べていた電車を少しずつ、別の種類の電車を並べる
- わざと靴下を手にはめて子どもに見せる

■大人が手伝う、関わる必要のあるおもちゃや活動を用いる

- 風船、シャボン玉、コマ、くすぐり、タオルブランコなど

日常環境発達行動支援法(NDBI)は、コミュニケーションの発達に効果がある



日常環境発達行動支援法(NDBI)は、どんな効果があるのか？



8歳までの自閉スペクトラム症児に対する複数の種類の発達支援の効果と比較した結果、NDBIやDTTは、支援効果が高いことが報告されています。さらに、NDBIは、社会的コミュニケーション、言語、遊び、および認知面の発達促進に効果があることが報告されています。

(Sandbank et al., 2020, *Psychological Bulletin*)

(Crank et al., 2021, *Autism Research*)

日常環境発達行動支援法(NDBI)は、小集団でも活用できる



日常環境発達行動支援法(NDBI)は、小集団でも活用できるのか？



活用できます。特に、お子さんの動機づけを高めることを重視します。お子さんたちの「やりたい」に合わせて、活動を作り、その中で模倣を促します。

まとめ

■ 日常環境発達行動支援法(NDBI)は・・・

- 日常生活・遊び場面で活用できます。
- コミュニケーションを教える方法です。
- 「模倣」を教えることを重視します。
- 「モデリング」と「まね」で模倣を教えます。
- コミュニケーションの発達に効果があります。
- 小集団でも活用できます。

おもちゃを使った遊び場面



- お子さんのやりたい!: 飛行機のおもちゃで遊びたい
- 大人のやりたい!: 「ビューン」という言葉のまねや、動きのまねを引き出したい!

行動を引き出すきっかけ	お子さんの行動	行動の結果
	飛行機を動かす	大人が飛行機を動かすまねをする
「ビューン」と言い、飛行機を大きく動かす	「ビューン!」と模倣する	大人が「ビューン」といい、飛行機を大きく動かす
「ビューン」と言い、飛行機を大きく上下に動かす	「ビューン!」と模倣し、動きもまねする	大人は同じ動きをする
	プシュー!といい、着陸する	大人も着陸する
「到着ー!」という	「到着ー!」と模倣する	大人が「到着したねー!」という

絵本や図鑑などを活用した場面



お子さんにやってほしい模倣リスト

絵を指さす動き

「みーつけた!」と言うことは

「電車あったね」と言うことは

「黄色い長い電車だね」ということは

「ガタンゴトン」列車の音や動きのまね

などなど..

絵本を活用した場面



行動を引き出すきっかけ	お子さんの行動	行動の後の結果
	「電車!」	「電車だね」
「電車みーつけた!」	「みーつけた!」	「ね、みーつけた!」
「こっちにも電車あったね」と指をさす	「電車あったね」と模倣する	「電車あったねー!」
「黄色い電車もあったね」	「黄色い長い電車もあった」と模倣・拡張する	「黄色い長い電車もあるね!」

お子さんに合わせながら、お子さんにやってほしい模倣の見本(モデリング)を行う。

おやつ



行動を引き出すきっかけ	お子さんの行動	行動の後の結果
おやつを高いところにおいておく 「クッキーあるよ」	「クッキーちょうだい」	「クッキーね、いいよ～！」
行動を引き出すきっかけ	お子さんの行動	行動の後の結果
「ごはんとパンどっちたべる？」	「パン」	「パンね！いいよ」
行動を引き出すきっかけ	お子さんの行動	行動の後の結果
スパゲッティのお皿だけ出す 「あ、フォークがない！」	「フォーク」	「フォークだね！」

お子さんに合わせながら、お子さんにやってほしい模倣の見本(モデリング)を行う。

お風呂



行動を引き出すきっかけ	お子さんの行動	行動の後の結果
耳どこ？	「耳」といい耳を触る	「耳だね～！」 子どもの耳をさわる
行動を引き出すきっかけ	お子さんの行動	行動の後の結果
ここは鼻！指をさす	指をさす	「鼻だねー！」といい指を さす
行動を引き出すきっかけ	お子さんの行動	行動の後の結果
ゴシゴシといいながら 体を洗う	「ゴシゴシ」	「ゴシゴシだね」

お子さんに合わせながら、お子さんにやってほしい模倣の見本(モデリング)を行う。

お手伝いの場面

行動を引き出すきっかけ	お子さんの行動	行動の後の結果

お子さんに合わせながら、お子さんにやってほしい模倣の見本(モデリング)を行う。

散歩の場面

行動を引き出すきっかけ	お子さんの行動	行動の後の結果

お子さんに合わせながら、お子さんにやってほしい模倣の見本(モデリング)を行う。



第二部

遊びとつながる発達支援—個別のワザー

お子さんに合わせた対応

- こだわりのあるお子さん
- 過敏のあるお子さん
- 元気いっぱいなお子さん
- 注意が向きにくいお子さん
- うっかりやさんなお子さん
- 一人遊びを好むお子さん
- おもちゃを好まないお子さん
- 発声段階のお子さん
- 1語発話のお子さん
- 短い文でお話するお子さん
- 文章でお話するお子さん

こだわりのあるお子さん

■ 一緒に楽しめるこだわりを活用していきましょう

- ▶ パズルを最後まではめたい
- ▶ 電車を全部並べたい
- ▶ 数字を読み上げたい
- ▶ ボールを落とすのが好き
- ▶ みずががが好き→お風呂で遊ぶ

■ こだわりがある中で、大人の動きやことばをまねできることはそのお子さんにとっての成長です。

過敏のあるお子さん

■ 「ちょうどよい加減」を見つけ、増やしていきましょう。

➤ さわられてもビクッとしなない触り方、近づき方、声の大きさを探していく

➤ 少しずつ関わり方を増やしていく。

■ もし嫌な様子があれば、やめて、また少しずつ関わりを増やしていきましょう。

■ 遠くから小さい声と一緒に模倣する、指先だけちょっとしたタッチで模倣するなどの遊びも良いかもしれません。

元気いっぱいなお子さん

■ ダイナミックな身体遊びはどうでしょうか。

- ▶ 公園で走る、追いかけてっこをする
- ▶ トランポリンでジャンプする
- ▶ 抱っこしてぐるぐる回す
- ▶ タオルブランコ

■ 静かに、ゆっくり動くことを模倣してもらうのもいいかもしれません

- ▶ 走った後に、少しゆっくり手を繋いで歩く
- ▶ ジャンプしたあと、静かに座って5数える
- ▶ 「ゆっくり早く体操ゲーム」やってみる

注意が向きにくいお子さん

■ 好みのおもちゃや物と一緒にお子さんの視野に入り込みましょう。

➤ 視野の中で、動きやことばをまねしましょう

➤ 効果音や実況中継にリアクションをする様子があるかみてみましょう

■ 注意が向きやすい、持続しやすい遊びを見つけてみましょう

➤ 図鑑は長くみる、ボールを転がすおもちゃは楽しめるなど

■ 大人の持っている物を見ることができるようのも、1つの成長です。

うっかりやさなお子さん

- ゆっくり、じっくりみる、ゆっくり、じっくりきくことをまねしてもらいましょう
 - 5秒数えながら待つ
 - 5秒間、大人のほうを見て話を聞く

- 持ち物をかばんに入れる準備を活用して、「荷物を入れる」動きをまねしてもらいましょう

- 集中しやすい遊びを活用しましょう
 - お絵描きゲーム
 - 絵本

一人遊びを好むお子さん

- 保護者と先生と関わるのも「楽しい!」ということを経験してもらいましょう
 - さりげなく視野に入り、一緒に同じ動きをしたりやことばを言う
 - 並行遊び
 - たまに物を共有したり、物を交換したりして遊ぶ

- 一人遊びの時にどんな遊び方をしているのかを観察することがヒントになりそうです
 - 見て楽しんでいるのか
 - 聞いて楽しんでいるのか
 - 触って楽しんでいるのか

おもちゃを好まないお子さん

- 身体遊びや、手遊び歌、音楽などを活用していきましょう
- 感覚遊びを活用しましょう

発声段階のお子さん

- 意味のなさそうな言葉、発声であっても、その発声をするにまねして返しましょう
- 耳元で聴かせたり、動きをつけながら聴かせたり、色々な方法を試してみましょう

1 語発話のお子さん

- 今の発話をそのまま、まねして返していきましょう
- まねが続くようであれば、単語に近づけて、ことばの見本を見せていきましょう
- ことばの見本を聞かせた時に、模倣が続かないようでしたら、またことばのまねに戻りましょう。

短い文でお話するお子さん

- 今の発話をそのまま、まねして返していきましょう
- まねが続くようであれば、今の発話よりも単語や表現が1つ多い、ことばの見本を聞かせていきましょう
- ことばの見本を聞かせた時に、模倣が続かないようでしたら、またことばのまねに戻りましょう。

文章でお話するお子さん

- お子さんがお話しする文章の一部の単語をまねして返していきましょう。
- まねをして返す応答は「聞いている」というサインになり、共感的な応答になり、話が続けやすくなります。
- まだ使ったことのない新しい語彙や、表現を見本として聞かせていきましょう。

「お子さんの動きやことば」をメモして残しておく

- お子さんが言ったことばをメモする

日付	一番良かったことば
12/1	〇〇ちゃん待ってて
12/2	もういいかい、まあだだよ
12/3	ありがとう
12/4	かして
12/5	電車かして、ありがとう

その日に観察した中で一番良かったことばをメモしておくことで、子どもの発達の様子を知ることができます。さらにお友達におもちゃを譲る行動、お友達と手をつなぐ行動など、ことばと同じように、その日 一番良かった行動もメモしておくことで、より子どもの適切な行動に目を向けることができます。

まとめ 遊びとつながる発達支援ー共通・個別のワザー

- お子さんのやりたい!に合わせ、場面やおもちゃ、活動を選んでいきます。
- お子さんが今やっている動きや言葉は、お子さんが今まさにやりたいことで、興味のあることです
- そうした今やっている動きやことばをまねすることを通して、お子さんの「模倣」を促し、「コミュニケーションの楽しさ」を経験してもらうのがNDBIの目的となります。
- 大人が動きやことばの見本を見せたり、聞かせることでお子さんの「模倣」が広がります。
- 「模倣」はことばの発達の土台となり、コミュニケーションの発達を促進させます。

参考文献

- Bruinsma, Y., Minjarez, M., Schreibman, L., & Stahmer, A., (2020) *Naturalistic Developmental Behavioral Interventions for Autism Spectrum Disorders*. Baltimore, MD:Paul H. Brookes Publishing Co.
- Crank, J. E., Sandbank, M., Dunham, K., Crowley, S., Bottema-Beutel, K., Feldman, J., & Woynaroski, T. G. (2021). Understanding the Effects of naturalistic developmental behavioral interventions: A Project AIM Meta-analysis. *Autism Research*, 14(4), 817-834.
- 石塚祐香 (2021) 言語発達障害のマネジメント, *Journal of Otolaryngology, Head and Neck Surgery*, 37. 619-622.
- 石塚祐香・山本淳一(2021) 自閉スペクトラム症児の音声言語に対する随伴模倣を用いた介入の効果-遊び場面における発声・発話機会設定の有無に関する検討-. *行動分析学研究*. 36, 46-57.
- Ishizuka, Y., & Yamamoto, J. (2021) The Effect of Contingent Imitation Intervention on Children with Autism Spectrum Disorder and Co-occurring Intellectual Disabilities. *Research in Autism Spectrum Disorder*, 85, 1-18.
- Ishizuka, Y., & Yamamoto, J. (2020) The effects of adult contingent responsiveness on increasing conversational responses through picture book reading setting in children with autism spectrum disorder. *Social Sciences, Education and Humanities*, 4, 206-213.
- 石塚祐香 (2019) 応用行動分析学に基づく包括的な早期発達支援プログラム:自閉スペクトラム症児への発達促進効果. *子どもの心とからだ:日本小児心身医学会雑誌*, 27, 433-435.

参考文献

- Ishizuka, Y., & Yamamoto, J. (2016) Contingent imitation increases verbal interaction in children with autism spectrum disorders. *Autism: The International Journal of Research and Practice*, 20, 1011-1020.
- 石塚祐香・山本淳一(2014) 無発語自閉症児の音声コミュニケーションと対人的相互作用の促進に及ぼす逆模倣の効果:事例研究. 慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要:人間と社会の探究, 78, 1-15.
- Lovaas, O. I. (1987) Behavioral treatment and normal educational and intellectual functioning in young autistic children. *Journal of Consulting and Clinical Psychology*, 55, 3-9.
- 松崎敦子(著), 山本淳一(監修)(2020)0~5歳児 発達が気になる子のコミュニケーション子育て-5つの力からアプローチ- 学研プラス
- 三田地真美, 岡村章司(著), 井上雅彦(監修)(2019)保護者と先生のための応用行動分析入門ハンドブック 金剛出版
- 日本行動分析学会(編集)(2019)行動分析学事典 丸善出版
- Sandbank, M., Bottema-Beutel, K., Crowley, S., Cassidy, M., Dunham, K., Feldman, J. I., ... & Woynaroski, T. G. (2020). Project AIM: Autism intervention meta-analysis for studies of young children. *Psychological bulletin*, 146(1), 1.
- Schreibman L. et al. (2015) Naturalistic developmental-behavioral interventions: Empirically validated treatments for autism spectrum disorder. *Journal of Autism and Developmental Disorders*, 45, 2411-2428.



ご静聴ありがとうございました